

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年 3月 8日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	プロセス放射線モニター系換気系排気筒入口放射線モニターサンプルポンプ(2)において、インバータ周波数の変動により、当該サンプルポンプの流量、圧力も変動していることが認められたため、原因調査・対策検討。 なお、換気系排気筒入口放射線モニターサンプルポンプを(2)から(1)へ切替を行い、サンプルポンプ(1)は流量、圧力の変動はないことから、プロセス放射線モニター系の監視に影響はない。	GIII	3月6日
2	1号機	碍子洗浄防災設備碍洗・防災ポンプ(A)入口弁(S21-F003A)において、碍洗・防災装置(電気品)点検のため当該弁の隔離操作(全開から全閉)したところ固着のため閉まらないことが認められたため、当該弁を点検・修理。	GIII	3月7日
3	4号機	換気空調系中央制御室冷凍機(D)蒸発器(D-2)冷却管の点検において、渦流探傷検査により冷却管176本中2本に減肉が認められたため、当該冷却管の閉止を実施。 なお、これまで2本の冷却管を閉止しているが、設計上8本の冷却管閉止が許容されるため、冷却機能に影響はない。	GIII	3月2日
4	その他	周辺放射線監視用データ収集処理装置の取替後のデータ伝送確認において、県テレメータ、ホームページ用データ収集システム、環境影響評価システムにデータ伝送できていないことが認められたため、原因調査・対策検討。 なお、データ伝送は3月7日17時13分頃から再開している。	GIII	3月2日